



須賀川市立白方小学校グランドデザイン“2019”



須賀川市教育委員会学校教育の重点

- I 郷土を愛する心と地球規模の視野を持ち、自他の違いを尊重して社会のために責任ある行動ができる子ども
- II 社会や実生活とのつながりを意識しながら意欲的に学び合い、考えを深め、問題解決できる子ども
- III 運動やスポーツに親しみ、体力の向上や健康の増進に自ら努め、周囲の人とともに安全に生活できる子ども

子ども・教師の願い

- 明るく楽しい学校にしたい。
- 学習を楽しくやりたい。
- みんなとなかよくしたい。
- 自分の考えや思いを相手に伝えたい。
- 基礎的・基本的な内容をしっかり身に付け、活用できるようにしたい。
- 思いやりがあり、明朗でたくましい子に育てたい。

保護者・地域の願い

- 思いやりのある子に育ってほしい。
- 学力のある子に育ってほしい。
- 自分の考えを持って行動できるようになってほしい。
- 基本的な生活習慣をしっかりと身につけてほしい。

目指す学校像

- 地域に根ざし未来をめざした教育を進める学校

教育目標

「心身ともに健康で、総合的な学力を身に付けた白方の子どもの育成」

すすんで学習する子ども（知性）

思いやりのある子ども（敬愛）

明るく元気でたくましい子ども（健康）

〈確かな学力の定着〉

教科横断的・問題解決的な授業力の向上をめざして

- 研修の充実
- 問題解決的な学習指導の充実
- ICT機器の活用

基礎・基本の充実をめざして

- 各種学力検査の分析と活用
- 家庭学習や読書の習慣化

学習集団の質の向上をめざして

- 話し方・聞き方の定着
- 共に学び合い、高め合う集団づくり（学級力の向上）

〈ESDで身につける能力・態度〉

- ・多様な観点から考え、見通しを持ってよりよい解決策を考える力
- ・気持ちや考えを交流させ、協力して取り組む態度

〈豊かな心の育成〉

温かい人間関係の醸成をめざして

- 豊かな体験活動と外部人材の活用
- 特別活動の充実による望ましい集団づくり

思いやりの心の育成をめざして

- 「自己を見つめる」道徳の授業の充実
- 道徳的实践力を育む体験活動の工夫

基本的な生活習慣の定着と自主性の育成を目指して

- あいさつ・返事・後始末の徹底
- 規則正しくけじめのある学校生活
- 係や委員会活動の奨励

〈ESDで身につける能力・態度〉

- ・気持ちや考えを交流させ、協力して取り組む態度
- ・さまざまな人や社会、自然などとのつながりを尊重する態度

〈健康・体力の増進〉

体力・運動能力の向上をめざして

- 「体育の授業」の充実
- 運動の日常化（「白方っ子タイム」の充実）
- 体力テストの結果分析と活用

健康な生活をめざして

- 健康教育（食育・性教育・薬物乱用教育）の充実
- 「歯みがきタイム」の継続

安全な生活をめざして

- 命を守る指導の徹底
- 危機回避能力の育成

〈ESDで身につける能力・態度〉

- よりよい未来をめざし、その実現に向けて主体的・計画的に取り組む態度

ESDの日常的な実践

（各教科等の目標を達成するための学習活動を通して「ESD」で身につける能力・態度を育む）

- 「持続可能な社会づくり」のための学習内容や単元の開発・実践（『最終報告書』『構成概念』の活用）と教科横断的な指導の実現
- 「課題を持ち、調べ、表現する」一連の学習を協力的に推進

〈ユネスコスクールとしての特色ある教育活動〉

- ユネスコスクール等のネットワークを生かした他校や専門機関との交流と講師の招聘（FEC＝福島ESDコンソーシアム、全国小中学校環境教育研究会、大学等の研究機関）
- 教育活動をESDの視点から見直すことによる教科横断的な指導の実現（「ESDカレンダー」の改善、授業以外での活動）
- 「持続可能な社会づくり」の観点から課題を持ち、調べ、発表する学習サイクル（「祖父母参観」での発表の機会、小中一貫教育）
- 研究成果の積極的な発信と交流（学校だより・学校ホームページ・各種たより、研究会への参加、研究公開の開催）

